



三信電気株式会社

住所：東京都港区芝4-4-12

代表取締役社長：松永光正

- 設立：1951年
- 従業員数：637名
- 業務内容：半導体デバイスや電子コンポーネント部品の国内販売・輸出入、企業ネットワークの診断・設計・構築から運用サポートまで一貫したソリューションサービス、映像ソリューションサービスを提供
- URL：http://www.sanshin.co.jp/



○半導体・エレクトロニクスの技術商社として、内外メーカーの電子デバイスを幅広く販売。顧客メーカーの商品開発に合わせ、高付加価値サービスと最適なキーパーツを提供する。

○ネットワーク、Web、オフィス、メディアの各分野で、システム構築やコンテンツ製作から運用サポート、メンテナンスまでトータルなソリューションを提供。

○国内全事業所および国内子会社4社、海外子会社4社がISO14001の認証を取得しているほか、ソリューション事業部門および子会社2社がISMS認証基準Ver2.0を取得。

USER REPORT

## 社内PCのハードディスクを暗号化して情報漏洩を防止 現場への負荷を最小限に抑えて リスクを回避し顧客の信頼を獲得

三信電気株式会社は半導体・エレクトロニクスの技術商社として、長年実績を築いてきた。近年のユーザーニーズの多様化に伴い、電子デバイスにはコストパフォーマンスのみならず、強固な開発支援体制、軽量化・小型化・大容量化といった顧客の要求を満たす新たなキーパーツが求められている。一方、ソリューション事業においては、通信インフラの整備から業務アプリケーションの導入、運用、保守サービスまで含めた総合的なサポート力が重視され、同社もまたシステムインテグレーターとして多様な業種・業態に向けたトータルソリューションとサポート・サービスを展開している。こうした中、個人情報保護法の施行などを背景に、企業における情報セキュリティへの関心は急速に高まった。情報セキュリティの確保に積極的に取り組んできた同社は、同時に情報セキュリティを自社のビジネスとして展開するべく、顧客情報を扱うことの多い営業が安心して業務を行うことができるよう、営業部門を中心としたモバイルPCの情報セキュリティ対策に着手した。取り組みの様子について、同社の佐野弘明氏と兵野武夫氏にお話を伺った。

### お客様の声



システムサポートセンター  
1部2課  
課長 佐野弘明氏



情報システム部  
主任 兵野武夫氏

「キヤノンはドキュメント関連のシステムに強い印象がありましたが、セキュリティに関してもよい製品を提案してもらって感謝しています。CompuSecは導入が容易で信頼性も高く、当社のお客様にも安心してお勧めできます。大量のPCへの一斉導入にあたっては、細かい点に至るまでサポートしてもらい、大変助かりました。将来的には、紙を含めたドキュメント全体を適正に管理し、トータルなセキュリティを向上させたいと考えています」

## 堅牢な情報セキュリティを構築するためには 個人の判断や意識に依存しない仕組みが必要だった

### ご要望

- モバイルPCの盗難や紛失などによる機密情報の漏洩を確実に防ぎたい。
- ユーザーの意識や判断に依存せずに全社的にセキュリティを強化したい。
- システムの導入から運用を通じてノウハウを蓄積し、自社の情報セキュリティビジネスを強化したい。

### 盗難、紛失等のリスクに備え モバイルPCからの情報漏洩を阻止

モバイルPCのセキュリティ強化に取り組まれた背景にはどのような課題があったのですか。

「当社では、顧客に最適なソリューションを提供するために、営業担当者ほぼ1人1台、全社で約370台のモバイルPCを運用しています。モバイルPCの増加に伴い、セキュリティの確保が課題となってきました。2005年4月に個人情報保護法が施行されてからは、特にセキュリティ意識の高いお客様が情報セキュリティ対策の実施状況について報告を求めてくる場合などもあり、早急に情報セキュリティの強化に対応する必要を感じていました。

当社では2004年のISMS取得を前に、情報の取り扱いルールを見直しました。お客様との接点となる営業担当者にとってモバイルPCは必需品ですが、盗難や紛失の危険性がありました。このような形での情報漏洩を水際で阻止するには、個々の担当者の意識レベルや判断に依存せず、セキュリティを確保できる仕組みが必要だったのです。データの持ち出し禁止やファイル単位の暗号化など、人間が行う対策だけでは不十分だと判断しました」

情報セキュリティビジネスへの取り組みを検討されていたとも伺いました。

「自社で実際に運用することで、導入・運用に関するノウ

ハウが蓄積でき、顧客の信頼獲得にもつながります。そこでまずは自社のセキュリティの強化に取り組むことにしました」



今回のシステムを選んだ決め手は何だったのですか。

「一度インストールしてしまえば、ユーザーがソフトを操作しなくても、PC内のデータを保護できるという点がポイントになりました。複数の製品を比較検討し、暗号化の方式や強度、暗号化速度、動作速度、既存の業務ソフトウェアとの相性などを検証しました。その結果、インストール時の暗号化速度は製品によって大きく違っていました。40Gバイトのデータ暗号化では、今回導入したソフトは2時間程度ですみましたが、中には2~4倍もの時間がかかる製品もありました。

また、暗号化後のPCの動作速度に関して、業務用のソフトウェアを使用しながらファイルサイズの大きいデータを開いた場合でも、ほぼ従来通りの感覚で使用できたので、導入を決定しました」

裏面に続く

● 担当させていただきました



キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
東京ビジネスソリューション第4営業部  
東京システムパートナー販売第3課  
チーフ 花木 満



ITサービス企画本部  
セキュリティソリューション事業推進部  
BS7799スペシャリスト  
石塚達也

「暗号化速度や業務ソフトへの対応など、お客様の要件を満たしつつ、できる限り安価にモバイルPCのセキュリティ向上が実現できるご提案をさせて頂きました」

● ご評価いただきました

- ユーザーが暗号化を意識したり、個々に判断を下したりすることなく、モバイルPCのセキュリティを向上させ、情報漏洩への不安を解消することができた。
- 370台におよぶPCへの一斉導入や統一ポリシーの展開がスムーズに進んだほか、暗号化速度や既存業務ソフトとの適合についても満足のいく結果が得られた。
- 情報セキュリティに対する自社の取り組みをアピールすることで顧客からの信頼が深まったほか、導入で得たノウハウを顧客の問題解決に応用することも可能になった。

## 現場に負荷をかけずにセキュリティを確保 自社の取り組みがビジネス強化にもつながった

### データ暗号化による影響はほとんどなく 日常業務は変わらない

社内で展開するにあたり、検討された点をお聞かせください。

「まず、ハードディスク全体を暗号化するか、ファイルやフォルダ単位で暗号化するかを検討しました。この点では、管理面の手間は若干増えるものの、ユーザーがとくに操作する必要がないように、全体の暗号化を採用しました。

次に、約370台のPCにどのように展開するのかを検討しました。具体的にはパスワードの使用期間や桁数などです。また、暗号化するメディアの対象をどこまでにするか等、セキュリティポリシーを策定しました。

さらに、ユーザーが分かりやすいよう、詳細なマニュアルを作成し、イントラネット経由で配布しました。このほか、PCの機種による差分の調査など、事前の準備をしっかり行ったので、導入時のトラブルはほとんどありませんでした」

### 導入後、業務はどのように変わりましたか。

「導入時に一度ハードディスクの暗号化が完了してしまえば、普段の業務ではまったくソフトの存在を意識せずに見えます。IDとパスワードの入力は従来より一回増えましたが、OSの起動時だけなので気になりません。定期的に必要パスワード変更も、ソフトが自動的に要求してくれる点も便利です。

また、万一盗難などにあっても、正確なパスワードが判らなければ第三者からはデータの閲覧も不可能です。仮に、ハードディスクを抜き取り、情報を読み取ろうとしても暗号化されているので、情報漏洩の心配がありません。このように、営業担当者にとって、社外でも不安なくPCを利用できるようになったのは大きなメリットですね」

### 自社の取り組みをアピールすることで 顧客からの信頼獲得にもつながった

#### 顧客の反応はいかがでしたか。

「デモやプレゼンの際、PC起動時に暗号化ソフトのロゴが出るので、当社の情報セキュリティに対する取り組みを

アピールすることが可能となりました。当社ではISMS認証を通じ、情報セキュリティの制度や運用が



確立していますが今回導入したソフトのおかげで、「情報漏洩のリスクが非常に小さくなる」とお客様により安心感を持って頂けるようになりました。

もちろん、自社で利用しているソフトですから、お客様にも自信を持ってお勧めできます。実際に暗号化製品に関するお問い合わせが増えたほか、「御社も使っているのなら大丈夫だろう」と、導入をご決断頂けるケースも出てきました」

自社の取り組みをセミナーで紹介されているとも聞きました。「お客様の情報セキュリティに対する関心は非常に高く、製品の機能や導入・運用のプロセスに関して多くの質問が寄せられました。その際も、導入後でなければ分からない運用面の工夫や、実際の暗号化速度や動作速度なども含めてご提案が可能になり、導入前のお客様が抱く不安や疑問を解消できるようになりました」

### 将来の展望についてもお聞かせください。

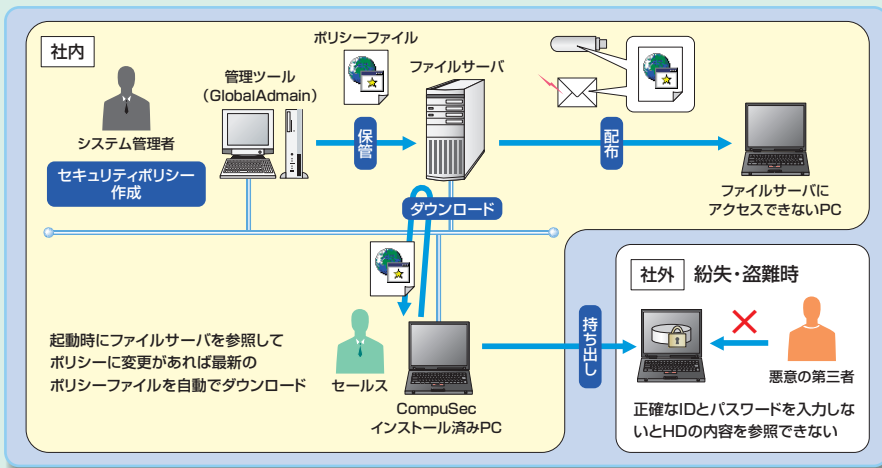
「情報セキュリティは“対策を行わないことによるリスク”を未然に防ぐもので、すべての企業が取り組むべき課題です。このような情報セキュリティを重要な課題と考えているお客様のためにも、当社の経験を役立てていけるのではと考えています。今後も、時代の変化に合わせて常に最適な情報セキュリティのあり方を探り、システムと制度の両面から充実を図っていきたくと考えています。

今回のシステム導入では、導入から運用に至るさまざまなノウハウを得ることができました。こうしたノウハウを広く提供することで、お客様のセキュリティ向上のお役に立てるとうれしいですね」

### 情報漏洩対策ツールCompuSecシリーズ

CompuSecシリーズはモバイルPCやデスクトップPCを対象にしたPKI（公開鍵基盤）ベースの情報セキュリティツールです。

OSを含めてハードディスク全体を暗号化し、外部認証デバイス（USBトークン/SmartCard）とパスワードによる2重の認証をOS起動前に要求することで、本来のユーザー以外のデータ利用を防止します。ハードディスクを抜き取り別のPCに接続しても、未フォーマットのディスクとして認識されるほか、ハイパーネーションモード（休止状態）や外部記憶装置の暗号化にも対応しています。モバイルPCやデータを持ち歩く機会が多いビジネスシーンにおいて、盗難・紛失による情報漏洩を未然に防止します。また、USBトークンやSmartCardを抜くだけで自動的にPCがロックされるため、離席時のセキュリティ確保にも有効です。



Home Page ©キヤノン ソリューション ホームページ  
[canon.jp/solution](http://canon.jp/solution)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 ITサービス事業推進部  
TEL (03) 6719-9864 FAX (03) 6719-8319

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON TOWER

記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

Copyright © 1999-2006 Canon Marketing Japan Inc. All rights reserved.